

科目名	美術 Art	科目コード	00370
-----	-----------	-------	-------

学科名・学年	全学科・1年
担当教員	本多 康夫
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年, 60時間【内訳: 講義 56, 演習 0, 実験 0, その他 4】
教科書	
補助教材	色鉛筆 36色、超軽量紙粘土、筆、30° 刃カッター等制作用具一式。 課題によっては参考資料配布
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

デザインを中心に新しい発想方法に重点を置き、発想する事、手仕事の大切さ、物作りのおもしろさを体得する。

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A) と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 自然から感じる五感の全てが美術（デザイン）に深く通じていることを理解し、美的創作表現を通して新しい自分を探し出すこと。	100%	(a1)

【C. 履修上の注意】

常に様々な視点からの新鮮なアイデアに心掛ける。美術館等へも出かけ鑑賞を通し感性を磨くこと。上手下手よりも発想段階、制作過程でのまじめな取組と作品の完成度を評価する。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 作品の評価（80%）
- 定期試験・その他（20%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	折り紙による高度な折方の習得（手仕事の基本）	
2	〃	
3	〃	
4	平面作品の創作……立方体の再構成（アイデア）	
5	〃	
6	〃	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	〃	
9	平面作品の創作……立方体の再構成（色鉛筆）	
10	〃	
11	〃	
12	〃	
13	立体作品の創作……紙粘土による（卵の型作り）	
14	〃	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	〃	（授業の進み具合をみて細密描写を加える場合あり）

● 後期

回	内容	備考
1	立体作品の創作……紙粘土による（卵のデザイン）	
2	〃	
3	〃	
4	〃	
5	〃	
6	〃	
7	〃	
8	後期中間試験	試験時間：50分
9	〃	
10	〃……切絵による（新生物のデザイン）	
11	〃	
12	〃	
13	平面作品の創作……ミニイラスト（四コマ）	
14	〃	
—	後期末試験	試験時間：50分
15	〃	